

■佐野友三郎 図書館長という未知の世界に、“巡回文庫”“十門分類表”など革新的な試みも、内務官僚と確執で自殺。

さのともさぶろう

禁門の変・・・1864＝ 武蔵国川越で、上野国前橋藩士の子に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 4歳：

明治6年政変 1873＝ 9歳：

明治14年政変1881＝ 17歳：

新体詩抄・・・1882＝ 18歳：群馬中学校を卒業，

内閣発足・・・1885＝ 21歳：東京大学に入学したが，

卒業直前に外国人教師との対立を理由に大学を中退し，

帝国憲法発布1889＝ 25歳：

帝国議会始・・・1890＝ 26歳：山形県の米沢中学校に教師として赴任し，

大津事件・・・1891＝ 27歳：地元の医師の娘と結婚。

後に警視總監となった岡田文二はこの時の教え子で，死後の整理を依頼するなど親交が厚かった。

日清戦争始・・・1894＝ 30歳：

その後，大分県や広島県で中学校教師をした後に，台湾総督府に採用される。

台北県弁務署長まで昇進するものの，

Bushidou・・・1899＝ 35歳：人員整理を目的とした文官分限令発動の対象となって休職扱いにされ，日本に帰国，

ビノ国産化・・・1900＝ 36歳：*東京大学時代に同じポート部にいた秋田県知事の武田千代三郎から，新設の秋田県立秋田図書館の館長の就任を要請されて受諾。図書館に関しては十分な知識を持っていなかったが，すぐに帝国図書館館長の田中稲城の指導を仰ぎながら，無料開館・月曜日休館などの原則を定めた規則を作成するなどし，

教科書疑獄・・・1902＝ 38歳：アメリカのメルヴィル・デュイが始めた巡回文庫の仕組みを取り入れた“巡回文庫”構想に取組む。後に直接デュイと手紙を遣り取りするなど，その図書館思想の影響を強く受ける。散逸しかけていた佐藤信淵の著作の蒐集事業や各地に郡立図書館を設置する事にも力を注いだが，“巡回文庫”の準備中に武田が山口県知事に転任，同行して新設の県立山口図書館館長に就任するように求められ，

日比谷公園・・・1903＝ 39歳：*山口県立山口図書館館長として赴任。

日露戦争終・・・1905＝ 41歳：

山口でも，“巡回文庫”を導入した他，夜間開館の実施や日本初の児童図書館“児童閲覧室”を開設。

韓国反日暴動1907＝ 43歳：公開開架の導入して通俗書を中心として3,000冊を館内での自由な閲覧そして館外貸出を許可し，

伊藤博文暗殺1909＝ 45歳：*デュイ十進分類法と日本既存の“八門分類表”を参考に，新しい分類法“十門分類表”など作成したが，

明治天皇没・・・1912＝ 48歳：

本格政党内閣1918＝ 54歳：

大暴落・・・1920＝ 56歳：*文部省より著書「米国図書館事情」が刊行される一方，県の内務局長との確執が深刻になって，武田の知事退任後も，館長として図書館の充実に尽力するも，元々アメリカの図書館学の影響を受けて発達してきた近図書館そのもののあり方が，保守派から反国家的との批判がされるようになるなか，自宅で自殺した。遺書が田中稲城や岡田文二らに充てられていたものの，動機は不明である。

代